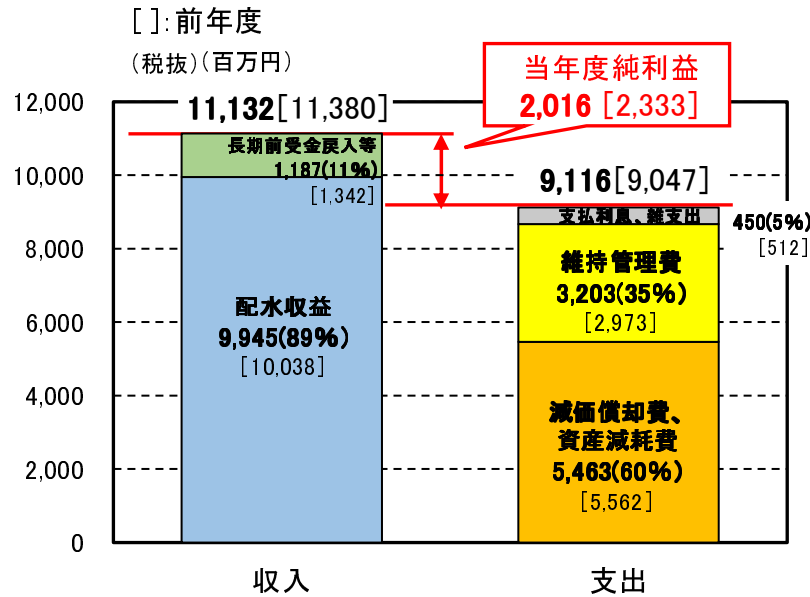
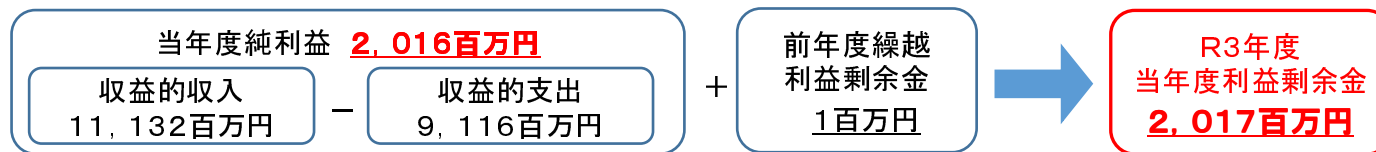


(1) 令和 3 年度奈良県水道用水供給事業決算概要について

1 収益的収支：水道水をつくり、水道事業者（市町村）に 用水供給するための経費（支出）と財源（収入）



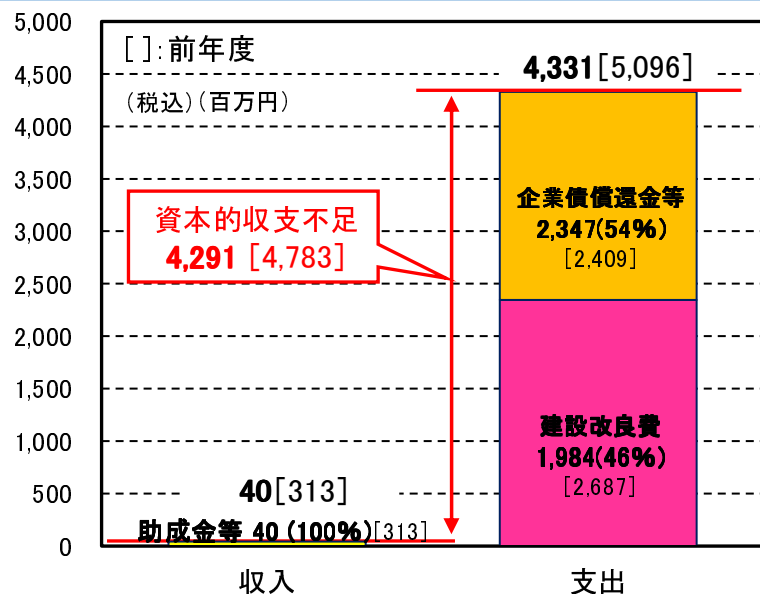
- 令和3年度の収益的収支は、**20億1千6百万円の黒字**。
 - 前年度(23.3億円黒字)に比べ、黒字は3.1億円減少。その主な要因は以下のとおり
 - ①収入の減少(▲2.5億円)
 - 配水収益等の減少(▲1.4億円)
 - 特別利益の皆減(▲1.1億円)[R2 公有地売却収入 1.1億円]
 - ②支出の増加(+0.6億円)
 - 支払利息及び除却対象資産の減による**資産減耗費の減少**(▲1.7億円)
 - 薬品費・動力費・修繕費など**維持管理費の増加**(+2.3億円)
- ※以下の費用分は、「支出」には含んでいない(引当金の取崩で対応)
- ・退職給付金(0.8億円) 退職給付引当金を取崩し
 - ・コンクリート構造物の修繕費(0.9億円) 特別修繕引当金を取崩し



■ 令和3年度の利益剰余金(20億1千7百万円)の処分方法

①条例第4条第1項に基づき、利益剰余金の1/20を下らない額を「減債積立金」に積立て	減債積立金 110百万円
②残額を「県域水道ファシリティマネジメント推進積立金」に積立て	県域水道FM推進積立金 1,900百万円
③10百万円未満は「繰越利益剰余金」として翌年度へ繰越	繰越利益剰余金 7百万円

2 資本的収支：水道施設の新設、改良に必要な経費（支出）と財源（収入）



○資本的収支は、42億9千1百万円の不足

○資本的収支不足額は、前年度(47.8億円)に比べ4.9億円減少

主な要因は以下のとおり

- ①収入の減少(▲2.7億円)
 - ・建設改良費に係る助成金対象工事の減少による助成金の減少(▲2.7億円)
- ②支出の減少(▲7.6億円)
 - ・企業債残高の減少に伴う企業債償還金の減少(▲0.6億円)
 - ・計画的な既存施設の更新・改良による建設改良費の減少(▲7.0億円)

資本的支出
4,331百万円

資本的収入
40百万円

資本的収支不足
4,291百万円

■ 資本的収支不足額(42億9千1百万円)の補填方法

①消費税等資本的収支調整額[充当]	165百万円	資本的収支に係る消費税等の支払額に充当
②県域水道FM推進積立金[取崩]	477百万円	県域水道一体化に向けた県水転換に係る事業費に充当
③減債積立金[取崩]	130百万円	企業債の元金返済に充当 (参考)R3企業債償還元金 2,330百万円
④損益勘定留保資金[充当]	3,519百万円	収益的収支において、減価償却費や資産減耗費等、現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金等

3 貸借対照表

資産の部 (百万円)				負債及び資本の部 (百万円)				
資 産	固定 資産	有形 固定 資産	土地	6,594	負 債	固定負債	企業債	18,624
			建物	3,257			引当金	6,291
			構築物	54,015		流動 負債	企業債	2,265
			機械及び装置	10,333			未払金	1,740
			車両運搬具	7			未払費用	19
			工具器具及び備品	103			引当金	432
			リース資産	0			その他流動負債	15
			建設仮勘定	1,872			繰延収益	長期前受金
			繰延収益	29,227		資本金		出資金
			無形 固定 資産	ダム 使用 権			42,484	組入資本金
	投資	32			資本 剰余 金	国庫補助金	365	
	投資	長期貸付金	359	受贈財産評価額		0		
		現金預金	27,528	寄付金		750		
	流動 資産	前 払 金	未収金	968	剰 余 金	15,014	利益 剰余 金	その 他 金
貯蔵品			51	減債積立金				120
前払金			125	経 営 安 定 化 金				3,400
現金預金			27,528	県 域 水 道 フ ァ シ リ テ ィ マ ネ ジ ン グ 推 進 積 立 金				8,362
合計	147,728	未処 分 剰 余 金	2,017	89,115	15,014	13,899	未 利 益 剰 余 金	2,017
		現金預金	27,528				未 利 益 剰 余 金	2,017

合計 147,728 百万円

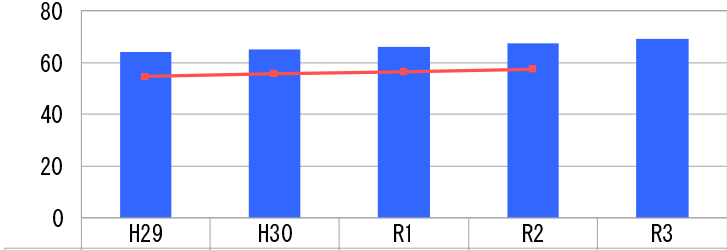
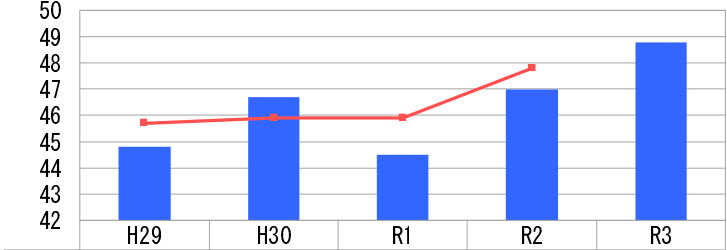
合計 147,728 百万円 (令和4年3月31日現在)

【参考】全国用水供給事業者との比較

データ出典：地方公営企業年鑑（総務省）

指標 算出式	■ 奈良県値（当該値） - 全国平均値（平均値） 年度推移	※全国平均のR3未公表	指標説明																		
①経常収支比率(%) (経常収益／経常費用) × 100	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>当該値</td> <td>121.1</td> <td>127.9</td> <td>128.9</td> <td>124.5</td> <td>122.1</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>114.3</td> <td>113.0</td> <td>112.9</td> <td>111.1</td> <td></td> </tr> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	121.1	127.9	128.9	124.5	122.1	平均値	114.3	113.0	112.9	111.1			●経常費用(営業費用＋営業外費用)に対する経常収益(営業収益＋営業外収益)の割合 ●給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賅っているかを表す指標 ●単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要
	H29	H30	R1	R2	R3																
当該値	121.1	127.9	128.9	124.5	122.1																
平均値	114.3	113.0	112.9	111.1																	
②流動比率(%) (流動資産／流動負債) × 100	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>当該値</td> <td>439.0</td> <td>501.1</td> <td>604.4</td> <td>561.1</td> <td>641.4</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>243.4</td> <td>258.5</td> <td>271.1</td> <td>284.5</td> <td></td> </tr> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	439.0	501.1	604.4	561.1	641.4	平均値	243.4	258.5	271.1	284.5			●流動負債に対する流動資産の割合であり、短期的な債務に対する支払能力を表す指標 ●1年以内に支払うべき債務に対して支払能力(現金等)がある(100%以上)ことが必要
	H29	H30	R1	R2	R3																
当該値	439.0	501.1	604.4	561.1	641.4																
平均値	243.4	258.5	271.1	284.5																	
③企業債残高対給水収益比率(%) (企業債現在高／給水収益) × 100	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>当該値</td> <td>323.3</td> <td>282.4</td> <td>254.0</td> <td>231.3</td> <td>210.1</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>303.3</td> <td>290.3</td> <td>273.0</td> <td>261.0</td> <td></td> </tr> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	323.3	282.4	254.0	231.3	210.1	平均値	303.3	290.3	273.0	261.0			●給水収益に対する企業債残高の割合 ●企業債残高の規模を表す指標
	H29	H30	R1	R2	R3																
当該値	323.3	282.4	254.0	231.3	210.1																
平均値	303.3	290.3	273.0	261.0																	

<p>指標</p> <p>算出式</p>	<p>■ 奈良県値 (当該値) 年度推移 ※全国平均のR3未公表</p> <p>- 全国平均値 (平均値)</p>	<p>指標説明</p>																		
<p>④料金回収率(%)</p> <p>(供給単価/給水原価)×100</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該値</td> <td>124.1</td> <td>131.7</td> <td>133.2</td> <td>128.2</td> <td>125.3</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>114.1</td> <td>112.8</td> <td>112.8</td> <td>110.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	124.1	131.7	133.2	128.2	125.3	平均値	114.1	112.8	112.8	110.8		<ul style="list-style-type: none"> ●給水費用を給水収益でどの程度賄えているか示す指標 ●給水費用が給水収益以外の収入で賄われている場合、100%を下回る。
	H29	H30	R1	R2	R3															
当該値	124.1	131.7	133.2	128.2	125.3															
平均値	114.1	112.8	112.8	110.8																
<p>⑤給水原価(円/㎥)</p> <p>{経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)-長期前受金戻入} / 年間総有収水量</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該値</td> <td>98.6</td> <td>91.4</td> <td>89.9</td> <td>93.2</td> <td>95.2</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>73.0</td> <td>73.9</td> <td>73.9</td> <td>73.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	98.6	91.4	89.9	93.2	95.2	平均値	73.0	73.9	73.9	73.2		<ul style="list-style-type: none"> ●有収水量1㎥当たりの原価(費用)を表す指標
	H29	H30	R1	R2	R3															
当該値	98.6	91.4	89.9	93.2	95.2															
平均値	73.0	73.9	73.9	73.2																
<p>⑥施設利用率(%)</p> <p>(一日平均配水量/一日配水能力)×100</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該値</td> <td>49.7</td> <td>52.0</td> <td>52.6</td> <td>52.9</td> <td>52.4</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>62.2</td> <td>61.8</td> <td>61.7</td> <td>62.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	49.7	52.0	52.6	52.9	52.4	平均値	62.2	61.8	61.7	62.3		<ul style="list-style-type: none"> ●一日の配水能力に対する一日の平均配水量の割合 ●施設の利用状況や適正規模を判断する指標 ●一般的には高い数値であることが望まれる。
	H29	H30	R1	R2	R3															
当該値	49.7	52.0	52.6	52.9	52.4															
平均値	62.2	61.8	61.7	62.3																

指 標 算 出 式	■ 奈良県値 (当該値) 年度 推 移 ※全国平均のR3未公表 - 全国平均値 (平均値)	指 標 説 明																		
⑦有形固定資産減価償却率(%) 有形固定資産に係る (減価償却累計額／償却対象資 産の帳簿原価) × 100	 <table border="1" data-bbox="689 571 1413 639"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該値</td> <td>64.0</td> <td>65.2</td> <td>66.2</td> <td>67.3</td> <td>69.0</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>54.7</td> <td>55.8</td> <td>56.5</td> <td>57.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	64.0	65.2	66.2	67.3	69.0	平均値	54.7	55.8	56.5	57.5		<ul style="list-style-type: none"> ●有形固定資産の減価償却度合いを示す指標 ●資産の老朽化度合を表しており、一般的に数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示す。
	H29	H30	R1	R2	R3															
当該値	64.0	65.2	66.2	67.3	69.0															
平均値	54.7	55.8	56.5	57.5																
⑧管路経年化率(%) (法定耐用年数を経過した 管路延長／総管路延長) × 100	 <table border="1" data-bbox="689 922 1413 991"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該値</td> <td>41.9</td> <td>41.3</td> <td>43.2</td> <td>45.1</td> <td>46.2</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>22.5</td> <td>25.8</td> <td>27.6</td> <td>30.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	41.9	41.3	43.2	45.1	46.2	平均値	22.5	25.8	27.6	30.3		<ul style="list-style-type: none"> ●管路の老朽化度合いを示す指標 ●一般的に数値が高い場合は、法定耐用年数経過した管路を多く保有していることを示す。
	H29	H30	R1	R2	R3															
当該値	41.9	41.3	43.2	45.1	46.2															
平均値	22.5	25.8	27.6	30.3																
⑨平均年齢(歳) 職員延年齢／職員数	 <table border="1" data-bbox="689 1273 1413 1342"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当該値</td> <td>44.8</td> <td>46.7</td> <td>44.5</td> <td>47.0</td> <td>48.8</td> </tr> <tr> <td>平均値</td> <td>45.7</td> <td>45.9</td> <td>45.9</td> <td>47.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	当該値	44.8	46.7	44.5	47.0	48.8	平均値	45.7	45.9	45.9	47.8		<ul style="list-style-type: none"> ●職員の平均年齢を表す指標
	H29	H30	R1	R2	R3															
当該値	44.8	46.7	44.5	47.0	48.8															
平均値	45.7	45.9	45.9	47.8																